

市役所であれば1号館(高さ132メートル)に設置されている。
他にも神戸商工貿易センタービルや神戸国際会館・ハーバーランドLiner等、神戸市内で約60カ所以上設置されているようです。



神戸市ではどこにありますか？

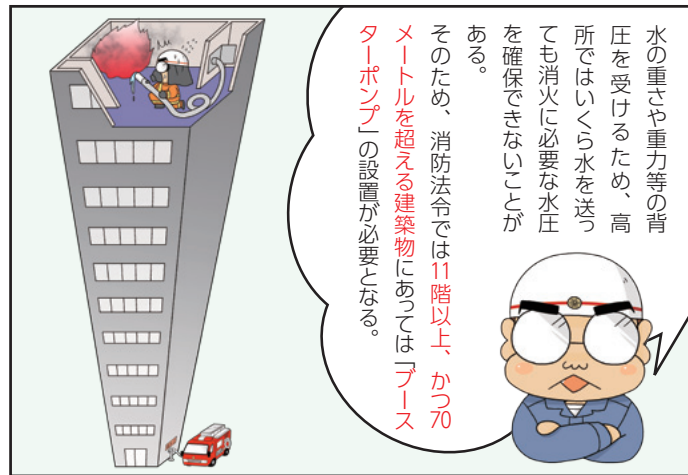
それゆけ！ ほむらくんの 消防設備講座！

第2回 連結送水管② ブースターポンプ

文：よしむら りょうた 絵：おぎの じゅんこ
一部で話題沸騰の「それゆけ！ほむらくんの設備講座」。
今回は、超高層ビルなどに設置される連結送水管の加圧送水装置（ブースターポンプ）についてのお話です。




ちなみに、神戸では建物に対してブースターポンプが1台のみ設置されているが、日本一のビルである大阪のあべのハルカス(高さ300メートル)は2台、東京スカイツリー(高さ634メートル)は6台も設置されているらしい。
最近ではロンドンでも高層建物火災が発生しており、神戸でもいつ同じような火災が発生するかわからない。
日頃から設置されている建物を把握して使えるように訓練しておかなければならない！



水の重さや重力等の背圧を受けるため、高所ではいくら水を送っても消火に必要な水圧を確保できないことがある。
そのため、消防法令では11階以上、かつ70メートルを超える建築物においては「ブースターポンプ」の設置が必要となる。



前回教えてもらった連結送水管ですが、どんな高い建物でも水が出るのですか？

ほむらくんの チェックポイント！


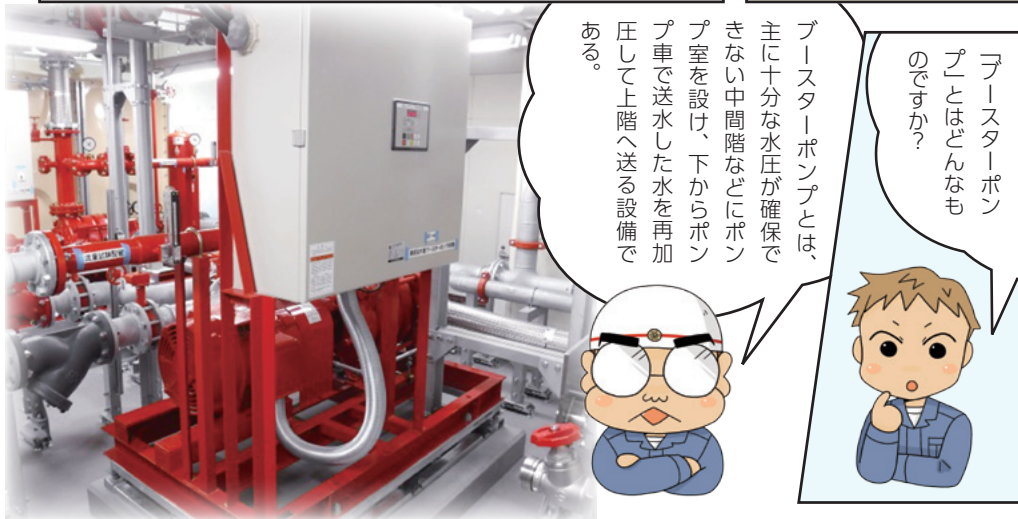
【設置されている対象物】

- ・11階以上、かつ高さ70メートルを超える建築物

【主な基準】

- ・ブースターポンプがある連結送水管は必ず湿式となっています。
- ・ブースターポンプの起動装置は3カ所です。
 - ① 送水口付近起動押しボタン
 - ② 防災センター等
 - ③ ポンプにて直接起動
- ・火災鎮火後、停止するには**ポンプにて直接停止**する必要があります。
- ・停電時等にも使用可能な**非常電源の容量は2時間以上**とされています。
- ・ポンプ故障に備えてポンプ室内に放水口及び送水口を設け、可搬式動力ポンプによる代替起動ができる建物もあります。
- ・ポンプ室は中間階以外にも、1階や屋上階に設置されている場合もあります。
- ・神戸では特例基準や技術基準により、法令と違う設置基準の建築物も部があります。

次回 連結散水設備

ブースターポンプとはどんなものですか？

ブースターポンプとは、主に十分な水圧が確保できない中間階などにポンプ室を設け、下からポンプ車で送水した水を再加圧して上階へ送る設備である。